

香童の柊

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年5月2日

文責：校長 廣田 昌英

家庭訪問

お世話になりました。家庭や学校でのお子様の生活の様子などについて、保護者と担任が情報を交換し合ういい機会になったのではないのでしょうか。でも、大切なのはこれからです。夏休み（7月）の個人懇談などの機会を待つことなく、今回の家庭訪問をいつでも担任と相談ができるきっかけにさせていただきますようお願いいたします。

「好きなんです！」は「助かります！」

本校南門を入れてすぐ右手に学校農園があります。ゴールデンウィークの前に用務員の高村功さんが耕し、各学年ごとに仕切ってきてきれいに畝（うね）を作ってくれました。後は子ども達が作物を植えるのを待つばかりの状態でした。

「こりゃ担任は助かりますね」

と声をかけたら高村さんは

「いや～、こういうの好きなんです！」。

好きだから苦勞でもなんでもないってことなんでしょうけど、高村さん、

「いや～、こういうの助かります！」

保護者の皆さん、学校に来たら是非、農園を見てください。

クールビズ

地球温暖化対策及び省エネルギー運動の一環として、壬生町では5月～9月をクールビズ期間と定めています。この期間は

エアコンの設定温度を過度に低くすることなく、着衣で調整することをねらいとして本校教職員もいわゆる「ノー上着、ノーネクタイ」となりますので、御理解と御協力をお願いします。

ノーテレビ・ノーゲーム週間

5月8日（月）から初めての実施となります。町内すべての小中学校で実施されます。各御家庭ではどのように過ごされるのでしょうか。子ども達から話を聞くのがとても楽しみです。

何があったの？

デスクワークを終え、老眼鏡を外して「さて、教室に向いて授業を参観してくるか！」と校長室を出て2階に登ろうとしたとき、ふと、日頃の運動不足を少しでも解消しようと考え、1段飛ばしで階段を駆け上ってみました。

「我ながらなかなか速いぞ！」とか思っていたら、その音に敏感に反応した高山宜之先生がすかさず駆けつけ、私に向かって「何があったんですか！僕が行きますよ！」.....。

恥ずかしくて参りました。そして高山先生の危機意識の高さに驚き、感心しました。

もし廊下を走っている子どもを見つけたら言ってみようと思ってます。

「何があったの？校長先生が行ってあげるよ！」